

# 3. 人々のくらしと田や畑のしごと

## (1) くだものづくり



桑折町は、あぶくま川や産が沢川<sup>うぶ</sup>があっても、川よりまわりの土地が高いため、川の水をひくことがむずかしい土地でした。

農家の人は、水をひかなくてよい作物、たくさんとれる作物、高く売ることのできる作物をさがしてきました。

りんご、もも、プラム、さくらんぼなどのくだものは、米作りのように水を多くひかなくてもつくることのできるの、水のひきにくい土地につくることできます。

もものしゅうかくは7月から8月におこないます。

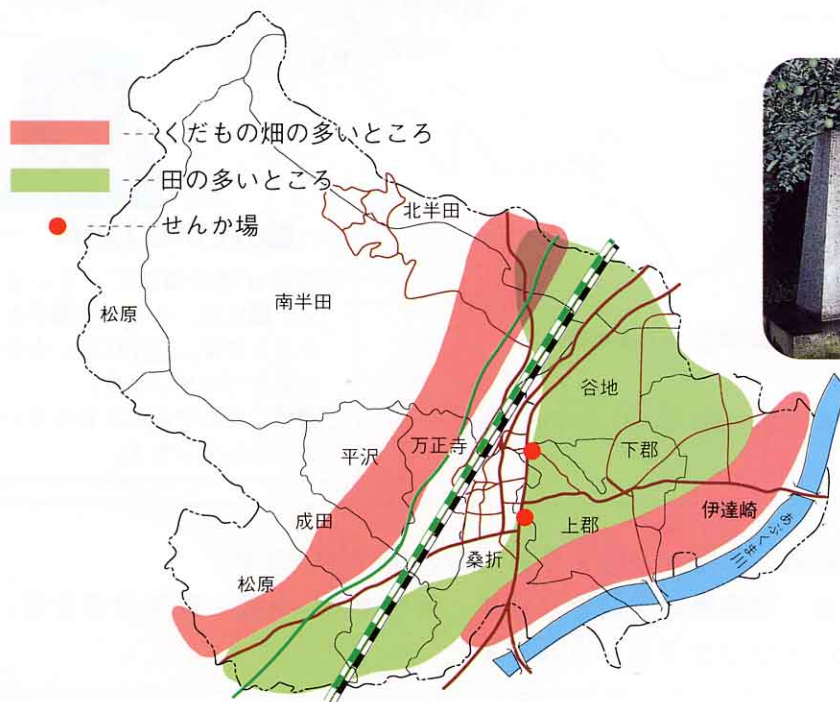
りんごのしゅうかくは9月から12月で、種類によってちがいます。

◀もものしゅうかく

## くだもの畑はどこにあるか調べよう

### ① くだものづくりのようす

桑折町でくだものをつくっているところ



桑折町でつくりだされたりんご「王林」の記念碑